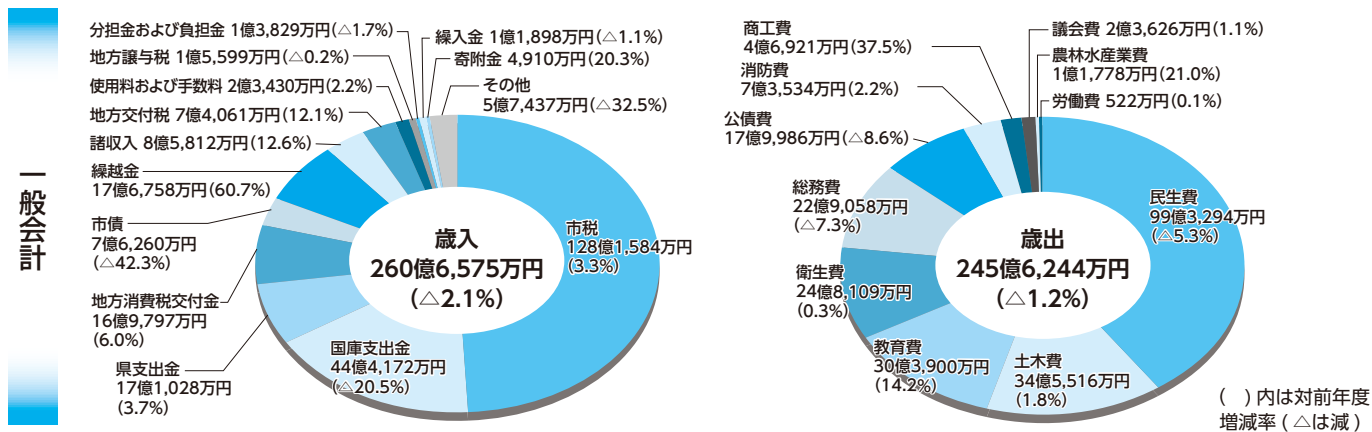


財政状況をお知らせします

令和4年度の決算状況や財産、市債の残高などをお知らせします。

問 財務課 財政係 (☎ 95-0146)

令和4年度 決算状況



一般会計

特別会計

企業会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	49億8,776万円	49億8,207万円
土地取得	80万円	80万円
介護保険	38億8,192万円	37億9,338万円
後期高齢者医療	9億4,122万円	9億3,923万円
合計	98億1,170万円	97億1,548万円

区分	収入	支出	
水道事業	収益的収支	13億8,513万円	13億1,459万円
	資本的収支	1億8,196万円	6億1,626万円
下水道事業	収益的収支	12億4,952万円	12億 550万円
	資本的収支	10億8,713万円	14億6,837万円

令和4年度の主な事業

- 総務費 (事務管理、財産管理、防犯などに係る経費)**
 - 特殊詐欺対策電話機器等購入費補助事業 63万円
 - SDGs イベント等開催事業 1,000万円
 - 庁舎空調設備等改修事業 5,496万円
 - 行政手続オンライン化対応事業 2,443万円
- 民生費 (生活保護、医療、手当、保育などに係る経費)**
 - 家計改善支援事業 792万円
 - 児童クラブ無線 LAN 環境構築事業 365万円
- 衛生費 (保健衛生、環境保全などに係る経費)**
 - 住宅用地球温暖化対策設備補助事業 959万円
 - 地域新電力会社出資事業 220万円
 - プロギング事業 29万円
 - バイオマスプラスチック製ごみ袋導入事業 2,317万円
- 農林水産業費 (農林水産業の振興や農・林道の整備などにかかる経費)**
 - 農業用機械等導入支援事業 48万円
- 商工費 (商工業、観光事業の推進などに係る経費)**
 - 知立駅周辺賑わいづくり事業 229万円
- 土木費 (道路・橋・公園など都市環境の整備に係る経費)**
 - 幹線市道路面緊急補修事業 4,929万円
 - 八橋東西線整備事業 2,293万円
 - 知立駅周辺土地区画整理事業 2億 739万円
 - 知立連続立体交差事業 5億9,468万円
 - 地域公共交通事業 1億 792万円
- 教育費 (学校教育、小・中学校の施設整備などに係る経費)**
 - スクールソーシャルワーカー活用事業 77万円
 - 水泳授業民間施設活用モデル事業 537万円
 - 中央公民館トイレ改修事業 3,875万円

市税の内訳

科目	決算額	前年度比	
市民税	個人	52億9,248万円	0.3%
	法人	8億2,074万円	5.5%
固定資産税	49億8,120万円	5.6%	
軽自動車税	1億6,619万円	6.1%	
市たばこ税	4億6,586万円	6.3%	
都市計画税	10億8,937万円	4.8%	
合計	128億1,584万円	3.3%	

都市計画税充当事業	充当額
街路事業	1,264万円
公園事業	80万円
下水道事業	4億8,225万円
土地区画整理事業	1億 708万円
都市計画事業関連の市債償還費	4億8,660万円
合計	10億8,937万円

※都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業の費用に充てることを目的とした税金です。



基金の状況

基金名	区分	令和4年度末 現在高 (現金)
財政調整基金		23億9,775万円
都市計画施設整備基金 (現金)		12億6,240万円
奨学基金		3,953万円
一般廃棄物処理施設等整備事業基金		1億8,238万円
減債基金		2億 284万円
国民健康保険基金		2億3,114万円
介護給付費準備基金		1億2,452万円
総合公園整備事業基金		1億5,522万円
子ども施設整備基金		2億7,151万円
学校施設整備基金		2億8,034万円
市制50周年事業基金		2,037万円
土地開発基金 (現金)		3億8,806万円
一般旅券収入印紙購入基金 (現金)		159万円
合計		55億5,765万円

市債の状況

市債残高 (令和4年度末)

241億7,460万円

(前年度比較 11億2,670万円減)

〇市債とは

生活基盤となる道路、公園、下水道、学校などを整備するときに、国などから借り入れるお金です。市債には、将来的に利益を受けるであろう市民にも返済を負担してもらい、世代間の公平を図る役割があります。

令和4年度は市債残高が前年に比べ11億2,670万円減少しました。今後も将来の財政負担が大きくなるように慎重に事業を選択し、計画的な借入を行っていきます。

土地・建物の状況

区分	土地 (地積)	建物 (延面積)
行政財産	754,214.83㎡	158,925.20㎡
普通財産	42,081.98㎡	0㎡
合計	796,296.81㎡	158,925.20㎡

わが家の家計簿

この家計簿は市の決算額を443万円として年収443万円 (月収約37万円) の家計に置き換えて、市の収入・支出の状況を表したものです。

項目	R4	R3	市の決算科目	
収入	基本給	182,400	172,700	市税
	諸手当	44,600	44,600	交付税・地方譲与税・各種交付金・分担负担金
	小計	227,000	217,300	
	親からの仕送り	88,000	101,100	国庫支出金・県支出金
副業収入	16,200	14,500	使用料・手数料・寄附金・諸収入	
資産の活用	800	1,400	財産収入	
銀行からの借入	10,800	18,400	市債	
前月からの繰越	25,100	15,300	繰越金	
預金の取崩し	2,100	2,000	繰入金	
合計	370,000	370,000		

項目	R4	R3	市の決算科目	
支出	食費	61,600	60,900	人件費
	医療費	81,900	91,200	扶助費
	ローン返済	25,600	27,400	公債費(通常償還分)
	うち繰上返済したもの	0	3,100	公債費(繰上償還分)
光熱水費	61,200	56,500	物件費	
家の増改築や補修	33,200	29,800	投資的経費・維持管理費	
町内会費など	50,600	45,400	補助費等・出資金投資貸付金	
子どもへの仕送り	23,500	22,100	繰出金	
貯金	11,100	12,400	積立金	
翌月へ繰越	21,300	24,300		
合計	370,000	370,000		

健全化判断比率および資金不足比率

令和4年度決算に基づき、健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率をお知らせします。(比率がない場合は、「-」となります。)

1 健全化判断比率

比率名	各比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	12.82%
連結実質赤字比率	—	17.82%
実質公債費比率	1.5%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%

実質赤字比率：一般会計等に生じている赤字の大きさを財政規模に対する割合で示す指標

連結実質赤字比率：全会計に生じている赤字の大きさを財政規模に対する割合で示す指標

実質公債費比率：一般会計等が負担する公債費(借入金)の比率を示す指標

将来負担比率：一般会計等が将来負担すべき負債(借入金や契約に基づく支払予定額等)の比率を示す指標

早期健全化基準：財政健全化への取組みが必要となる基準値

2 公営企業の資金不足比率

会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	20.0%

資金不足比率：公営企業の資金不足を事業規模である料金収入の規模と比較して、経営状態の悪化の度合いを示す指標

経営健全化基準：財政健全化への取組みが必要となる基準値

令和4年度決算における健全化判断比率は、いずれも国の基準である早期健全化基準を下回っており、さらに各公営企業の資金不足比率も経営健全化基準を下回っているため、これらの比率において知立市は健全であるといえます。

